

平成30年度 第2回 旭区区政会議（子育て・やさしき部会） 議事録

- 1 開催日時 平成30年12月5日（水） 午後7時52分から午後8時24分まで、
午後8時45分から午後8時47分まで
- 2 開催場所 旭区役所第2・3会議室
- 3 出席者
（委員）
木野議長、鎌田副議長、浅野委員、井上委員、岡委員、岸本委員、隅田委員、藤井委員、横田委員
（旭区役所）
松原企画調整担当課長、杉原保健福祉課長、小山保健・子育て支援担当課長、出口生活支援担当課長、他
- 4 次第
（1）平成31年度運営方針（素案）について（意見交換）
- 5 議事内容

○松原企画調整担当課長 すみません。それでは、引き続きまして、ただいまより第2回旭区区政会議の子育て・やさしき部会を開催したいと思います。部会の出席につきましては、現在9名ということで過半数を満たしておりますのでご報告をいたします。委員の皆さまの発言内容につきましては、引き続き、発言者氏名を含めて会議資料とともに閲覧できるようにさせていただく外、ホームページにおいても公表してまいりますので、ご発言の際にはお名前をおっしゃっていただきますようお願いいたします。

先ほども申し上げましたが、昨年度の委員アンケートによりフリートークの時間が必要という意見も寄せられておりますので、本日は皆さま方同士で意見交換をする時間といたしまして、区役所につきましてはその意見を、皆さまの意見交換を拝聴するという形にしたいと思っております。また、頂いたご意見につきましては、いつもどおり、次回開催の区政会議までに区の対応、方針等でお知らせをしたいと思います。

それでは、意見交換に入ってまいりたいと思います。それから、また後で、部会終了後になりますけれども、この終了後、学習会ということで予定をしておりますので、また、引き続きよろしくようお願いいたします。

それでは、議事進行を木野議長、よろしくようお願いいたします。

○木野議長 はい。そういうことで、本日、委員同士の意見交換という形でございます。区役所からの意見というのは、また、後ほど回答していただくということでございますので、委員同士でお話をするということでございますので、これも新しい方式で、どんなふ

うにしたらいいのかっていうことですが、議題は、先ほど全体会議で事務局から説明ありました、平成31年度の旭区の運営方針、これが主になるとは思いますけども、子育て・やさしさ部会ですから、経営課題の1と2ですね。ですから、平成31年度の運営方針の中で経営課題1、2について意見交換をしたいと考えております。

さて、いかがでしょうか。先ほど、説明していただきましたけども。どうでしょう。まず、そしたら一人ひとり。はい。意見交換ですから、意見交換ですけど名前を言っただいて。まず、ちょっと、じゃあ、順番にいかせてもらいましょうか。ね。じゃあ、鎌田さん。鎌田委員から。はい。

○鎌田副議長 すみません。鎌田です。よろしくお願いします。31年度の運営方針のところの8、ごめんなさい。8番の、そこがちょっと気になったんですけども。8のところの3です。ごめんなさい。小学生の体力・運動能力の向上支援ってということで、すごい体力、今の子どもって体力が、すごい落ちてるっていうのは、これは個人的な意見なんですけれども、はい、どここの学校の遊具で事故が起きました。そしたら、その時点でその遊具が禁止になります。公園も同じようなことで、なんか、どんどん、どんどん、学校からも、コンビネーション遊具とかいろいろなものが消えていってるっていうのが現状だと思うんです。

体育の授業で体力の向上を図るっていうのも、もちろん必要だとは思いますが、休み時間とかそういうところで、いろいろな遊具を使って体力を向上させるっていうのが本来の姿かなって私は思うんですけども、ここで、ここに書かれてるように、教員の指導力がアップすればそれで子どもたちの体力向上に本当につながってるのかなっていうのは、すごい疑問に思ったんですけども、それについてはどのようにお考えなのかなと思います。

○木野議長 ということなんですけども、ごめんなさい。意見交換なんで。

○鎌田副議長 ごめんなさい。

○木野議長 一つずつをお聞きするいうわけにはいかないみたいです。後ほど、まとめて、できるだけ早く回答していただくということです。ですけど、今、鎌田さん、鎌田委員の言われたことに対する委員同士の意見があれば言ってもらったらいと思うんですけどね。

私も同じように思うんですけども、体力はやっぱり落ちてるし、しかし、この社会のスタイルがだいぶ変わってきてますよね。それと、体力の前に本当に、早寝・早起き・朝ご飯ってよく小学生で言ってますけども、唱えてるだけで本当にきちっとそこまでできているのかって、もっと体力以前の、日常生活の問題も、やっぱり取り組んだほうがいいんじゃないかなと思うんです。そういうのも、私の意見ですけど、そういうような形で、委員

同士で言ってもらったらいいんですけど、何かこの、今の意見で何かないですか。ご意見で。

○木野議長 お名前、お名前言ってください。はい。

○浅野委員 すみません。浅野と申します。今、でも、小学校でクラブ活動ってあるんですよね。で、なんていうのか、小学校で今、私のほうのあれではバスケットボールを、もう活発的にやってますけど。それと、サッカーですか。だけど、先生、なんていうのかな。バスケットボール部の先生でも、やっぱり、力入れてるから、生徒と、生徒さんがついていくっていうんかね。こう、すごく。そやから、父兄の方も来られて一緒になって盛り上げてるいう、あれは感じましたけど。だけど、全体としたら、もう一部だけいうんか。そのクラブに入ってる子はね。だから、全体で取り組んでるということは、ちょっと分かりませんが、クラブに、運動部というのはそのぐらいしかないかなと思います。力入れてやってるのは。

○木野議長 これ、小学校、中学校。

○浅野委員 小学校。

○木野議長 小学校で、クラブでバスケットやってるんですか。

○浅野委員 活発的にやっています。

○木野議長 そうですか。

○浅野委員 はい。試合に行ったりとか。そういうのは先生もついていってるし。

○木野議長 今の点について、何かご意見。

○岡委員 私、別にあれですけど、岡でございます。いや、小学校で見て、聞いてたり見たりするところでは、今の時期ですと縄跳びとか、行ったら毎日縄跳びをするんだというので、みんな、集団登校で集まった時も練習したりとか、そのまま縄跳び持ってる子が増えていますし、それから、もうちょっとしたら、確か、朝行ったら走らなきゃいけないとかっていう、マラソンとかもやっていますよね。

それから、これは太子橋小しか分からないんですけども、間で、みんなで外へ出て遊びましようっていう時間があるとかっていうのも、確かこの間、小学校先生、校長先生から

説明があったかなと思ったり。体力は落ちてるかもしれないんですけども、運動会でもそんなに、マ스ゲーム的な、2段とか上に乗るぐらいのこともできてるし、特別劣ってるのかなというのが、ちょっとよく、実感として持っていません。

それと、この、サポート事業っていうのがどういうものかなというのはちょっと、イメージができていません。

○木野議長 そういうご意見がございますから、また、後ほど、返答いただけると思いますが、他に、どうぞ。はい。

○隅田委員 隅田です。この、運動能力向上サポート事業の件で、今、木野議長もおっしゃられたみたいに、その、本当に子どもの生活基盤そのものが、ほんまに、食生活やったりとか睡眠やったりとか、今、携帯のスマホとかのやったりとかっていうので、実際、スポーツテストとか体格とかでの調査でも、だんだん落ちてるっていうのは出てるので、そういうところに着眼して何か区で取り組んでいこうってことはすごくいいと思いますし。

で、5番目のこども食堂支援のところでも、学習支援っていうことでいただけてますけど、そこのところでも、やっぱり、その、同じように生活全般をどう支援していかないと学習につながっていかないとかいう話もあるので、どんな事業の組み立て方をされるんか分からないですけど、そこが大事やっていうことを旭区で認識して、外、いろいろな事業とうまく、なんか連携できるようなものに、鎌田委員が最初おっしゃってた、その、教員の指導力とかそういう一点だけじゃなくて、なんか本当に子どもが遊びとかいろいろなことを通じて元気になっていけるようなものの事業になるといいなと思いました。

○木野議長 ありがとうございます。外、ございませんか。じゃあ、順番にいいですか。横田委員。

○横田委員 横田といいます。コミュニティ活性化とまちの魅力の創出で、その、商店街の魅力向上というところで、商店街に魅力を感じる区民の割合の区民アンケートなんですけども、これ、75%以上が目標でここにはそれだけしかないんですけども、かつての資料で年々右肩下がってました。うん。で、その、今どき、私もそうなんですけれども、アマゾンで買い物します。便利です、正直言って。

だけど、商店街に行くと、行ったら行ったでいろいろな発見があるんです。あ、こんなん売ってる。あんなん売ってるわ。こんなことしてはるわっていうの。だから、行ったら行ったで楽しいんですけども、ネット販売、通信販売に全面的に対抗するわけにはいかないけれども、そうでなく足を運んでいただいたら見つかる魅力というのがあるので、そういうのを掘り起こすというのか、皆さんにお知らせしていただくというのを、どんなふうにしていけばいいのかなっていうのを感じております。

○木野議長 ありがとうございます。申し訳ないですけど、経営課題の1と2で。

○横田委員 ごめんなさい。

○木野議長 いえいえ。いいんですけどね。お答えいただけないかもしれないんで。はい。よろしく願いいたします。では、次をお願いします。

○藤井委員 民生委員の藤井です。僕はあんまり意見ないんですけど、そうや、運動不足いうたら、そういや、橋下さんは、大阪市は、大阪ですか。全国ワーストワンや言うてるから、これはなんとかせなあかんのやろうけど難しい問題です、だけど。僕も分かりませんねんけど、努力していただいてるのは感謝するんですけど、われわれの頃やったら学校の授業さえ聞いていたらついていけてたんですけど、今は塾行かんことには成績上がらんというのが、それがどうも腑に落ちんのですけどね。それぐらいです。

○木野議長 はい。ありがとうございます。そうしましたら、岸本委員、よろしいですか。

○岸本委員 大変遅れましてすみませんでした。申し訳ないです。突然中へ入ると、なかなか波に乗れなくてえらいすみません。

子育て教育環境の、僕らはなかなか、学校の実態というんか小学生の、ちょっと、今の健康状態の把握はなかなかできないんですけど、申し遅れました。新森地区の岸本です。よろしく願いいたします。

その、体力が落ちているという状況がなかなか把握できないのと、僕らの時は体育の、その、あれを果たしてそういう指導をしていただけたかどうかというのは、自分らで考えてやってたというのが僕らの時期の頃で。ただ、やっぱり、交通事情や道路事情やいろいろなことを考えると、うちの家の前は全部、私たちの遊び場であったと。だから、学校も24時間開放されておったと。入れたらいつ入っていても運動場は使えたという状況の変化はありますけれど、自分らで遊びも考え、そして自分らで、いわゆる、今のような青指という状態じゃなしに青年団だったと思うんですけど、そここのころの兄ちゃんやお姉ちゃんが、いろいろな形の遊び方や、それから、こういう形で危険であるという形を、みんな教えていただけた部分が、少し、そういうところが少なくなってきたんかなと。そういうふうには理解するんですけど、それを、区役所のほうのこういう、あの中でどういうふうにしたらええねんと言われても、区役所のほうもなかなか困るんじゃないかなと、ちょっと心配してるんです。

ただ、僕らの時の遊び方っていうのは、どうしても、その筋、筋というんですか。そここのところのお兄ちゃん、お姉ちゃんというか。それから、そういう形での遊び方。そして、

学校の先生も上手に僕らを指導していただけたと思うんですけど、今はなんか、けががあったりそういう形を心配されることが多くて、マラソン一つにしても、なんでそういう、例えば、倒れられたとかそういう形になったときに、なんでそこまで見てへんのやとか、そういう、なんか、プレッシャーに学校の先生のほうが負けておられるんじゃないかなと。だから、教育一つにしても、いわゆる、塾に、なんかこう、押されているというんか。なんかその辺のところの、なんかこう、狭間というんか、今の時期というのがそういう形のもんじゃないかなと。

ただ、体力、腕力が落ちていると、僕はゆめゆめ思ってません。なぜなら、次々と水泳であるとか、それから、スポーツである、いわゆる、タイムを争うものに関しては、当時の僕らの時からいくと、もう考えられんような数字が出てきてるんです。タイムにしろ。ただ、それは、全員がレベルアップしているかと言われると、それはしてないと思います。ただ、鍛え方であるとかそういう形の非常に科学的な、それから、いわゆる、その、数字で表せれるようなものに関しては、非常にそういうところを細かくチェックなさせて、プロに近いような方がアシスタントしておられるんじゃないかなと。ただ、それを一般の人にどういふふうにあれするというのがいいのか、ちょっと僕は今、理解ができないんです。すみません。ちょっと、大ざっぱな言い方ですみません。

○木野議長 いえいえ。

○岸本委員 申し訳ないです。

○木野議長 はい。ありがとうございます。先ほどからと同じやと思うんですが、この、向上サポート事業というのが新しく新規事業になってるんですけど、一体どんなことされるのかなというのがね。ちょっと、それは後ほど、また、お伺いいただいたほうがいいかなと思っております。そうしましたら、井上委員。

○井上委員 高殿の井上です。体力の問題と、それから、学業の問題と両方感じてることがあるんですが、これはやっぱり、大阪市の姿勢に大きな、私は間違いがあると思ってるんです。いわゆる、学力テストで成績がどうのこうの。その成績いかんによっては先生の給料にまで反映させるというような、こういうやり方に、まず、一番大きな原因があると思う。で、学業だけじゃ、学業もそうですけども、スポーツについても、例えば、なんか世界、なんか、大阪府1位になるとか全国で1位になるとか、そういうことで、また評価をするという、そういう評価の仕方をされてるところに大きな問題があると思うんです。

で、そうなりますと、先生はやはり、特定の子を育てる。特定の優秀な子だけを引き上げていくという方向に進んでいって、全体の体力だとか、あるいは学力だとかということから、ちょっとそれた教育になってきているという、そこに一番、私は大きな原因があ

と思うんです。

で、実は、私、武道をやってまして、もう今、閉鎖したんですけども、2年前まで道場持って武道を教えてたんです。で、小中学生が習いに来てくれるんですけども、いつも競合になるのが学校の、特に中学生の場合はクラブ活動、競合になって。クラブ活動が、これは学校の方針でそれはいいのかも分かりませんが、やや強制的に、何々に入ったら、もう、ずっとそれをやらせるというのを、やや強制的になってるんですね。で、それが、中学校だけじゃなくて小学校にまで及んできてるんです。

で、旭区の場合はどうか知りませんが、以前にはあったように聞いてるんですが、例えば、サッカーを優秀な選手にしようと思えば、もう中学生から教えてたら遅いので小学生から教えていかなあかんということで。今はどうか知りません。中学校の先生がわざわざ小学校の子を教えると。で、特定の優秀な選手にしていくと。で、中学校は中学校で、また、優秀な高校に行かしてとか、そういうふうに、特に優秀な子を育てる。あるいは、学校で成績、いい成績を他と比べて挙げたいと。挙げなければならないというか、その辺がちょっと、いろいろな問題があるなと思ってまして。

で、私の道場へ通ってきてる子なんかは、中学生になると、もう、そういう学校のクラブ活動あるので、先生、もう来れません言うて辞めていく子が多いんです。で、中学生いったら大変やな思うたら、小学生の5、6年生の子までそんなことを言い出してきてるので、これはちょっと、学校のスポーツに対する考え方、方針がゆがんできてるなというふうに私は思ってるんです。考えとして、私としては体験上、そんなふうに思ってます。

○木野議長 はい。ありがとうございます。他にございませんか。はい、どうぞ。

○隅田委員 31年度の12ページ、あ、12ページ、12番のところですね。30年度の、その、同じところの12番のところと、こう、見比べてるんですけど、30年度のところでは、12番のところ、1つ目がバスの運行補助事業で、2つ目が福祉推進のための取り組みっていうふうになってたんですけども、31年度は、その、バス以外で2つ、あれですね。活躍できる場の取り組みと、あと、相談機関の啓発活動にちょっと変わってるんですけども。

で、私、区政会議のたびに、このNPOとかボランティアとかのネットワークの強化の話は何度かさせていただいて、で、今日、学習会という仕立てになってるっていうのは、ちょっとあんまり、よくあれなんですけど、この後、学習会してこれから取り組んでいこうというところで、30年度、この2番のところにもそういうようなこと書いてたんで良かったんですけど、31年度、そういう話がちょっとなくなってる。で、代わりに、新規項目で地域包括支援センターの認知度向上みたいなこと書いて、これはちょっと、なんか、私のイメージしてるネットワークづくりとか、地域住民の方がお互い助け合ったりとかNPOとかと連携してっていう方向性からすると、逆に後退してるような。

地域包括支援センターは、委託事業で公式なものですが、それを知ってもらってという

のはもちろんいいんですけど、それは当然のことで、それは別に区独自の取り組みでもなんでもないので、それはあった上で、新たに他のネットワークをどうつくっていくかっていうことを、もっと前面に出すほうが、ねえ。この後、ネットワーク構築について学習会もするんで、ぜひ、それは残しておいてもらえたほうがいいかなと思いました。

○木野議長 はい。ありがとうございました。私も、子育てのほうはいいけど、子育ての支援をする団体を支援するようなどころにお金を使ってほしいなと思う。支援したことで、なんか、その、評価したというのではなくて、例えば、臨床心理士、500件が600件になったからって、それがどうしたんやという。こんなこと言ったらいけませんけど。あ、木野です。

ですから、今、言われたのも同じやと思うんです。NPOで頑張ってるところがもっと頑張れるように、ネットワークをきちっとしてほしいということですね。ですから、その意見は皆さん方、同意されると思いますけども。

他、あと、これは20分くらいまででしたかね。ですから、もう2～3だけ、意見頂きましょうか。岡委員、どうぞ。

○岡委員 岡です。特に意見と言えるのかどうか分かりませんが、子育て支援でプレママの体験と、それからお母さんのほっとタイムと行かせていただいたんです。で、私、結局、学習会、全部丸をして出したら、全部、このとこ1人が多かったんですけど。行ってるんですけど、すごく子育ての支援一覧表とか見せてもらったら、すごく、本当に課長さんが前、おっしゃった、自信持っておっしゃった、きめ細かく、人、いますっておっしゃるのが分かるぐらい、本当にいいことが出てるんです。

で、プレママのところに行ってもすごく来てらっしゃる方、真剣に、大変、すごく取り組んでらっしゃるし。で、ほっとタイム行っても皆さん、いや、いいわ、とおっしゃるんですけども、対象人数がすごく少ない。帰って出したんですけども、対象人数が、すごく、10組ぐらいずつとか。これ、どういう人、対象かなというぐらい少ないと思いました。

だから、そういうところをもう少し、あっち、あれ、あれこれしていただくのもいいんですけども、すごく限定した人しか来れない的な感じもするんじゃないかなと思うんですけども。見たところは、すごく支援体制がいいんですけども、対象として行こうと思ったら、きっと、どうかなというのがあるんじゃないかなと。

○木野議長 今の点について何か他にご意見ございますか。はい、どうぞ。

○井上委員 高殿の井上です。先ほども話したんで大人のことなんですけども、健康診断の受診率が非常に低いんです。これは、旭区だけじゃなくて大阪市全体が低いんですけども、他の衛星都市も私の知る限りで、あんまり大して知らないんですけども、例えば、お

隣の守口なんかと比べたら低いんじゃないかなと思うんです。

で、特に旭区が悪いとかそんなことじゃなくて大阪市全体が低いんですけども、この、健康診断を受けてもらうようにどうしたらいいのかいうのを、ちょっといろいろ、知恵を絞る必要があるんじゃないかなと思ってるんです。二十数%ですからね、全体の。大阪市の平均というのは。これは、なんか、健康に皆さん、関心持ってると言えるのかなと思うんですけども。

しかし、私も何人かの健康診断受けてない人に、なぜ、健康診断受けないんや言うたら、もう受けてもしまあないわとか、そんなこと言う人もおるし。診断、健康診断受けて悪い言われたら困るしな、とかね。だから、受けなあかんのやいうてても。

だから、ほんまに健康に対する関心が高まってるのかな、ちょっとそうでもないような気がするんです。でも、百歳体操だったら参加者が多くあるとか、これはいいことだと思うんですけども、もうちょっと、そういう健康診断を受ける人を増やすための努力をいろいろな形でする必要があるかなというふうに思います。

○木野議長 ありがとうございます。

○浅野委員 あのね。

○木野議長 はい、どうぞ。

○浅野委員 今、おっしゃられたけど。

○木野議長 浅野さんですね。

○浅野委員 はい。浅野です。はい。健康診断を受けるの、本当大切なんだけど、なんていうかな。近くに病院があるから、もう、悪かったら先生に診てもらったら、それで悪いところ診てもらったという感じで、わざわざ、もうそういう遠いところ行かなくてもかかりつけの先生がいらっしゃるから、それでもう、悪いところを診てもらったらいい、いう人が多いんです。はい。

○木野議長 はい。じゃあ、どうぞ。

○横田委員 横田です。健康診断っていうのは特定健診のことですか。特定健診のことでしょうか。

○小山保健・子育て支援担当課長 そうです。

○横田委員 特定健診ですよ。特定健診自体は、多分、保険者に、特定健診が低ければペナルティみたいなのがあるようなので、その、保険者が皆さん、行きましょうねという啓発とか啓蒙（けいもう）というのか、する義務もあると思うんです。だけど、その、旭区でされてる健康フェスタが 500 人以上っていう目標を挙げてらっしゃいますけども、500 人っていうと、旭区の人口からすると、とっても少数だと思うんです。お祭り自体の場所だとかキャパシティとかあると思うので、その 500 人っていうのは仕方のない人数かもしれないですけども、私、毎年参加、薬剤師会として参加してるんですけども、来られる方は本当に毎年来られてるんです。

で、その、来られてない方たちにとってその関心が上がるような、そういう取り組みが必要だと思います。それをどうするかというと、ねえ。難しいですよ。それこそ、その健康フェスタだけじゃなくって、地域包括支援センター。先ほどもありましたけれども、ああいうのもご存じない方も多いんです。私、うちの薬局の受付さんたち、皆さん、私がこういう仕事してなかったら知らなかったです。だから、それも含めて、いろいろ、皆さんに知っていただきたい。その機会をつくるのが、その、区の広報であったりするんだろうけども、広報さえ読まない方も多いようなご時世のようで。どうしたらいいか、みんな知恵を絞らましょうということなんです。

○木野議長 はい。ありがとうございます。この、いきいき百歳体操ってどんな感じなんですか。

○井上委員 え？

○木野議長 百歳体操ってどんなことされてるんですか。

○井上委員 うち。

○横田委員 いえ、行ったことありません。

○井上委員 うち、高殿は百歳体操、なかなか熱心にやってみて、高殿会館でもやっていますし、また、違う場所の集会所を借りたりしてもやっていますし、結構多いんです。ただ、やっぱり、女の方が圧倒的に多いです。で、男性は少ないですよ。私、ちょっと顔のぞいたら、井上さん、入り入りって、入りにくうて。女の方がようけやっていると。俺は遠慮するわ言うてよう入ってないんですけども。でも、なんでか男の人は少ないですな。

○横田委員 うちのほうも女性ばかり。

○井上委員 女性ばかりですな。だから、余計、男性が行きにくくなったりしてというところはちょっとありますね。

○木野議長 あ、そうですか。

○井上委員 でも、来られる方、ほんまに熱心に一生懸命にやっておられますね。

○横田委員 そうね。

○井上委員 楽しいとおっしゃられてますね。来られてる方は。

○木野議長 それはいいですよ。

○井上委員 だから、おっしゃるように健康診断もそうですし、来られる方はいろいろな人が自主的に来られて、同じ人がずっと来られてるんですけど、もう来ない人は徹底的に来ないというところをどうするか難しいですね。

○木野議長 はい。あ、どうぞ。はい。

○藤井委員 大宮の藤井ですけれども、僕は健康診断、まだ1回しか受けたことないんですけど、受けてへん者の心理から言うと、受けたらものすごい時間かかります。半日ぐらいかかりまっしゃろ。1日で、もうええわ思うて。もう、それからずっと行ってへんが、悪けりゃ、そのうち、今言われたように、調子悪かったら医者行ったらええねん。その、反対やわ、もう俺。ほんで、百歳体操、ほんまに評判よろしいけど。あれはええこっちな思う。ただ、それだけです。

○木野議長 ありがとうございます。ちょっと時間。いやいやいやいや。もう時間がだぶ来ましたけど。ねえ。健診受けるより体操しとったほうがええやんかということですね。はい。鎌田さん、もうよろしいですか。

○鎌田副議長 時間も時間です。

○木野議長 時間も時間ですから、本当、こうやって、やっぱり意見交換すると、本当、あっという間に時間過ぎちゃって。けども、この意見は全部吸い上げてもらって、また、回答いただくということでございますので、本日は有意義な意見が、交換ができたかなと

思っております。

そうしましたら、また、この議題について追加で意見を述べたいという方がおられましたら、いつものようすけども、机上に配付されております追加意見提案メモ。これは、12月14日までにということでFAXしていただきますと、本日の発言の中で取り扱っていただくということでございます。

その他、事務局から何か連絡事項はございますか。よろしいですか。

○松原企画調整担当課長 特にございませぬ。

○木野議長 そうしましたら、これで第2回の旭区区政会議、子育て・やさしさ部会は終了ということにさせていただきます。

○松原企画調整担当課長 最後になりますけど、副区長から一言ごあいさつお願いします。

○土居副区長 皆さん、どうも今日は、本当に区政会議、全体会議、それから部会、それから、勉強会と本当に長時間、本当にありがとうございます。われわれとして、今までのやり方というのは区役所と委員の皆さん方のキャッチボールという形だったんですけども、皆さん、委員の方々に意見を交換してどういうふうにしたら意見が、そういうことすればうまいこと意見が採れるんじゃないかというふうなトライアルをしたんですけども、ちょっと、最後のほうだけ入りましたけども、すごく熱心な会、意見があったということでございまして、私もまた、課長のほうからいろいろ聞いてまいりたいと思います。

皆さま方におかれましては、普段から児童福祉、また、障がい者福祉、高齢者福祉のいろいろな分野で、また、医療の分野で活動いただいております。本当にありがとうございます。感謝申し上げます。で、これからは、今日のいろいろな意見の会も含めて施策のほう、皆さま方、後押しするのと、また、引っ張ってというようなことを進めてまいりたいと思いますので、また、よろしく願いいたします。本当に今日はどうもありがとうございました。

○松原企画調整担当課長 ありがとうございます。これで終了させていただきます。どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。

○花田区長 そしたら、すみません。改めましてですけれども、今、副区長が言ったとおりでございますので、私からもお礼だけということで、皆さん、大変お疲れさまでございました。区役所としては誠意を持って取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。